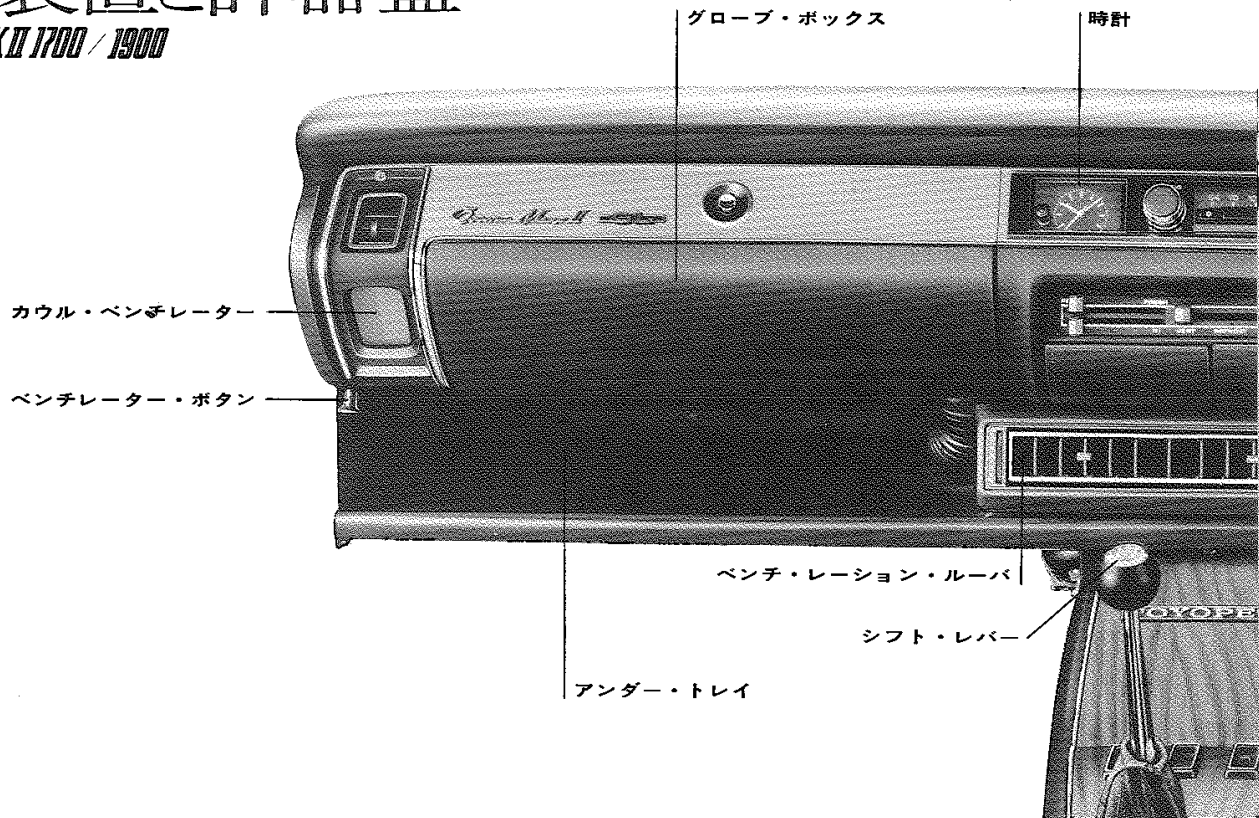
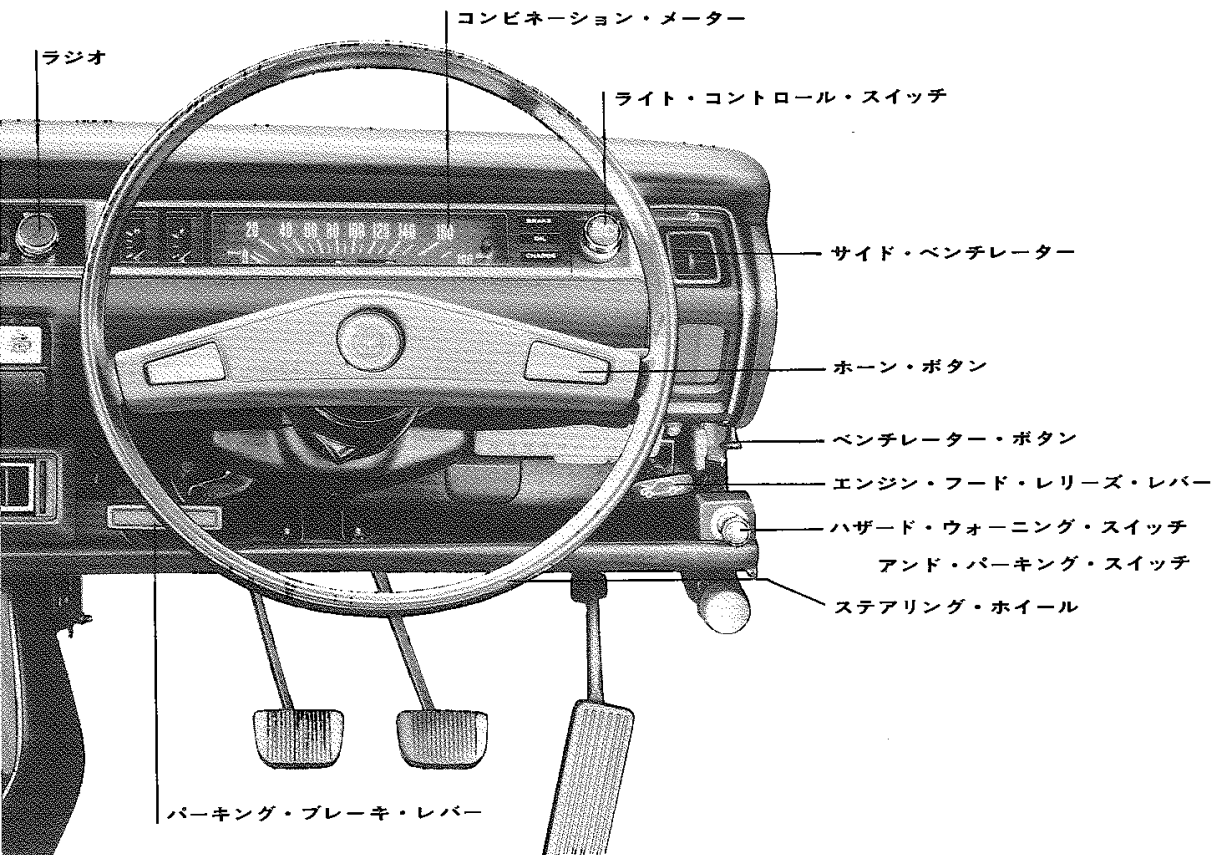


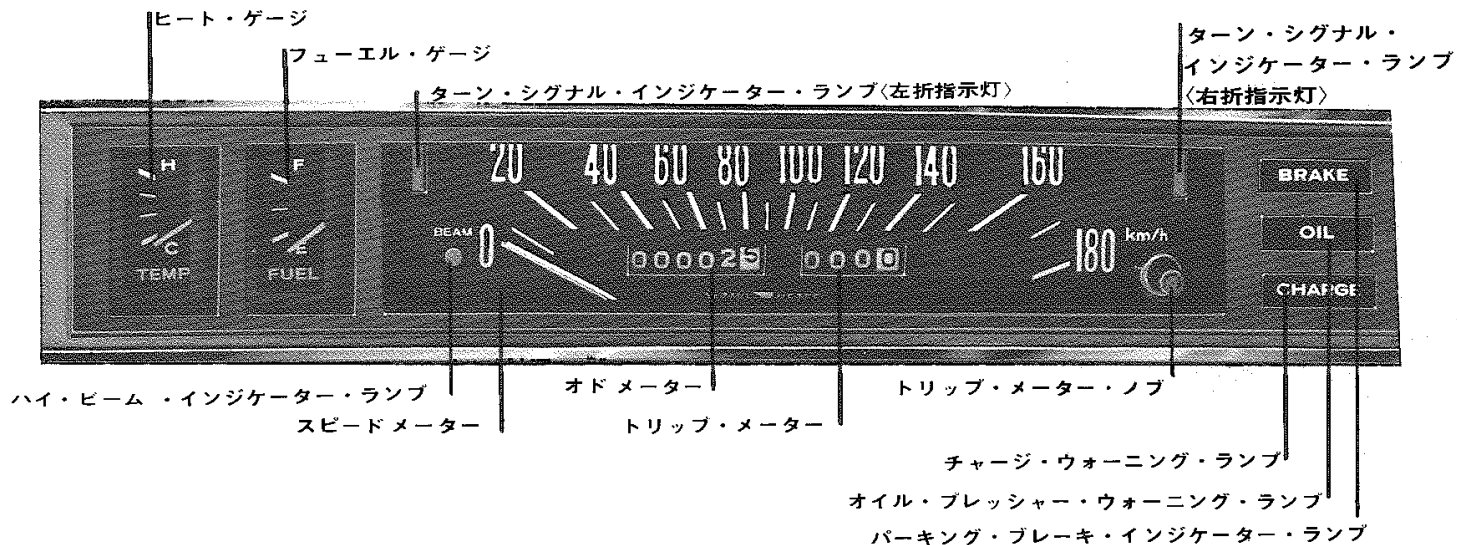
運転装置と計器盤

CORONA *MARK II* 1700 / 1900





メーター関係



■スピードメーター

メーターの指針は、車の走っているスピードを指示します。

■オドメーター（積算距離計）

あなたのお車が今までに走行した総距離をkmの単位で表わします。この数字を見て定期点検を行なってください。

白地に黒文字は、100mの単位です。

■トリップ・メーター

必要に応じて0にもどすことのできる積算距離計です。

数字の単位はオドメーターと同じです。数字をもどすときは、トリップ・メーター・ノブを右へまわしてください。

■ハイ・ビーム・インジケーター・ランプ（前照灯の指示灯）

ヘッドランプがハイ・ビーム（4灯全部点灯）であるとき、BEAMランプ（青色）が点灯します。

■パーキング・ブレーキ・インジケーター・ランプ

エンジン・スイッチがONの位置で、パ

ーキング・ブレーキが引いてあるときにBRAKEランプ（赤色）が点灯します。

その状態で、ブレーキ・ペダルを踏むとBRAKEランプが消えます。

■オイル・プレッシャー・ウォーニング・ランプ

運転中、潤滑系統が異常のときランプ

（赤色）がつき警告をします。

エンジン・スイッチをONにすると点灯し、エンジン回転数がある程度あがると消灯するのが正常です。

万一運転中に点灯した場合は、エンジンを止め、エンジン・オイル量、漏れの有無を調べ、オイルを正規に補給しても点灯する場合は、潤滑系統の故障と考えられますので、そのまま走行しないで取扱店のサービス工場にご連絡ください。

■チャージ・ウォーニング・ランプ

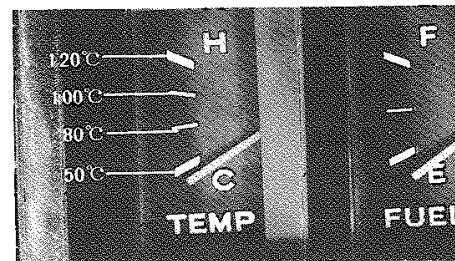
運転中、充電系統が異常なときにCHARGEランプ（赤色）が点灯し、警告します。エンジン・スイッチをONにすると点灯し、エンジンを始動すると消灯するのが正常です。

消灯しない場合、ファンベルトに不具合がなければ、充電系統の故障と考えられますので、取扱店のサービス工場での点検をうけてください。

■ヒート・ゲージ

エンジン冷却水の温度を示します。

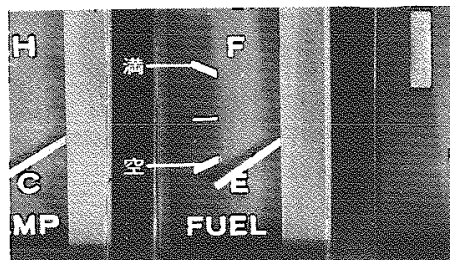
エンジン・スイッチがONのとき作動しOFFにすると℃、側にもどります。運転時の冷却水適温は75℃～95℃です。冷却水温度が110℃以上（オーバ・ヒート）になったときは、55頁を参照して適切な処置をしてください。



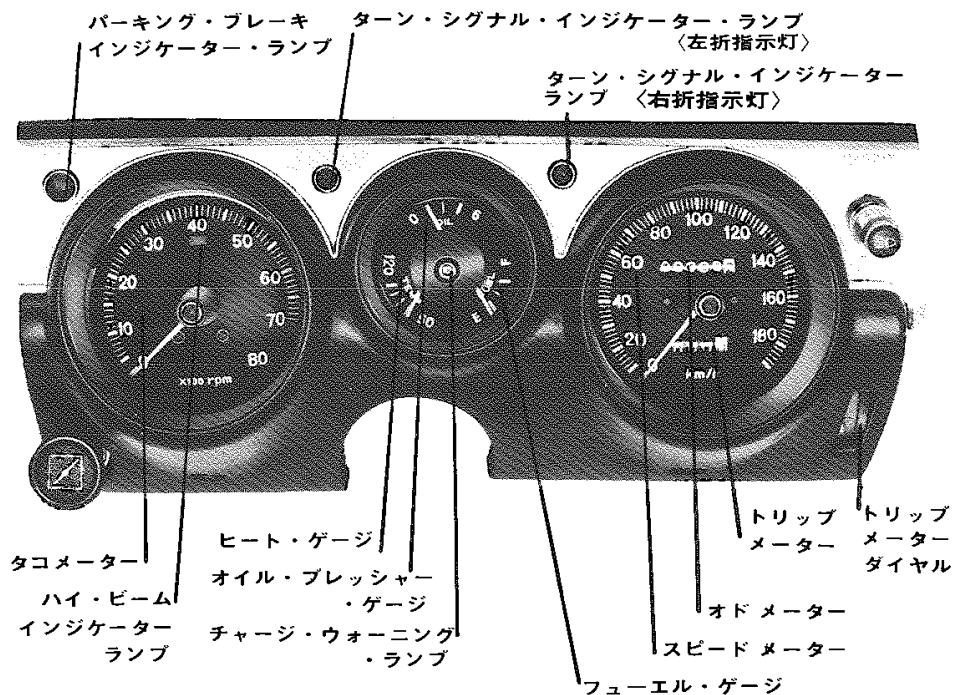
■フューエル・ゲージ

フューエル・タンク内のガソリン残量を
示します。

エンジン・スイッチがONのとき作動し
OFFにすると「E」側にもどります。
指針がEを指示したら、ガソリンの補給
をしてください。



メーター関係〈SL車〉



■トリップ・メーター

数字を0にもどすときはダイヤルを下にまわします。

■タコメーター〈エンジン回転計〉

エンジンの毎分回転数を示します。

目盛は100倍して読みます。

タコメーターの目盛には6,500r.p.m.以上は赤色で塗られています〈レッド・ゾーン〉ので、エンジン回転数がこの範囲に入らないようにして運転を楽しんでください。

エンジン回転数が6,500r.p.m.のときの各段の最高速度は次のとおりです。

- 1 速————— 50km/h
- 2 速————— 85km/h
- 3 速————— 130km/h
- 4 速—————

〈注意〉

高速でシフト・ダウン〈低速ギヤにきりかえること〉するとき、エンジン・ブレーキを使用するとき。又追越しをするときなど、6,500r.p.m.を越えないようにしてください。

■オイル・プレッシャー・ゲージ

〈油圧計〉

エンジン回転時の潤滑油の圧力を示します。

走行中、エンジンの回転数に応じて、1 kg/cm²～5 kg/cm²の範囲内で作動すれば正常です。エンジンの回転を上げても1 kg/cm²以上を指示しないときは潤滑系統に異常がありますので直ちにエンジンを止め、エンジン・オイル量を点検してください。エンジン・オイルが正規に入っているときは他に異常がありますのでサービス工場に連絡してください。

■ヒート・ゲージ

エンジン・スイッチがONのときに、冷却水の温度を指示します。

ヒート・ゲージの目盛は50側から50℃、80℃、100℃、120℃を表わします。

冷却水温が110℃を越えたときはエンジンに無理をさせないようにしてください。

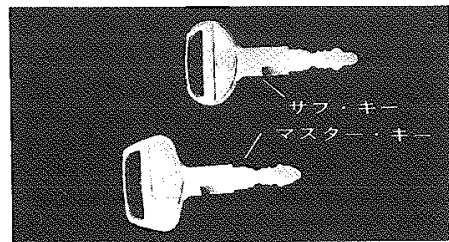
〈55頁、オーバー・ヒートしたときの項参照〉

■フューエル・ゲージ〈燃料計〉

エンジン・スイッチがONのときに、ガソリンタンクのガソリン残量を指示します。Fは満量を示し、Eはガソリンの補給を必要とすることを示します。

スイッチおよびレバー関係

■キー



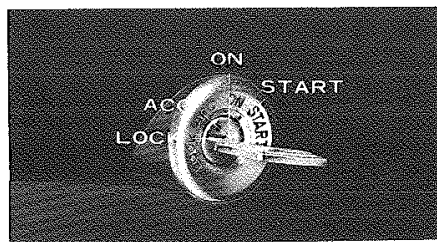
コロナ・マークⅡのキーは、両差しのマスター・キー方式で、上下の方向性がありませんので便利です。

マスター・キーは、お車のすべてのキーシリンダーに使用できます。

サブ・キーはトランクとグローブ・ボックスには使用できませんので、お車をあずける際など、トランクやグローブ・ボックスを開けられたくないときに便利です。

万一、キーを紛失されたときは、コロナマークⅡ取扱い店にご相談ください。

■エンジン・スイッチ



エンジン・スイッチは、イグニッションスイッチとスターター・スイッチの役目をします。

ON……………エンジン運転中の位置です。

すべての電気系統が作動します。

《注意》 バッテリー上りの原因になりますので、エンジンをかけずにスイッチをONにしたまま放置しないでください。

START…エンジンを始動するときの位置です。始動したらすぐキーから手を離してください。キーはスプリングの力でONの位置まで戻ります。

《注意》 故障の原因になりますので、エンジンがかかっているときはスイッチをSTART位置にしないでください。

ACC……………エンジンを止めたまま、ラジオが聞ける位置です。

LOCK……………キーの抜き差しできる位置で、同時にステアリング・ホイールをロックする位置です。これ以外の位置ではキーが抜き出せません。

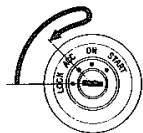
キーをLOCKの位置にして抜きますと再びキーを差し込み、ONにしないかぎりステアリングの操作ができなくなり、お車の盗難防止に役立ちます。

ステアリング・ロックを解除する場合は、キーを差し込み、ステアリング・ホイールを軽く左右に動かしながらONの方向にまわします。

■エンジン停止状態でお車を動かす場合
ステアリング・ロック

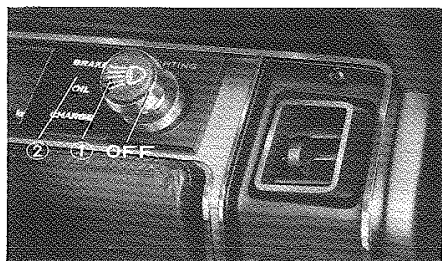
エンジン・キーを抜いたり、差した状態でもLOCK位置のままで移動されますと、ハンドルが固定され非常に危険です。

けん引してもらう場合、またはエンジンをとめて移動する場合は、必ずエンジン・キーを差して一回ONにし、ステアリング・ロックを解除してから、ACCの位置にしてお車を動かしてください。



ブレーキ・ブースタ(ブレーキ倍力装置) エンジンが回転していない場合、ブレーキ・ブースタは作動しません。したがってブレーキ・ペダルが重く、効きも悪くなりますのでご注意ください。(この項はブレーキ・ブースタ付車のみ)

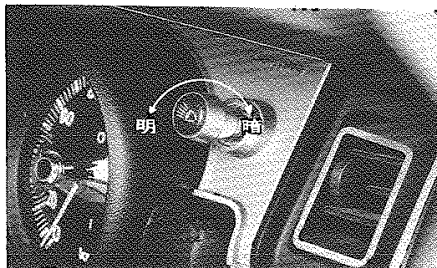
■ ライト・コントロール・スイッチ



2段引き出し式のスイッチで、①および②でそれぞれ次の○印のランプが点灯します。

灯 火 名	①	②
ヘッド・ランプ		○
スモール・ランプ	○	○
テールランプ	○	○
ライセンス・プレート・ランプ	○	○
メーター・パイロットランプ	○	○
コントロール・ポジション・インジケータランプ (トルコン車)	○	○

■ GL・GSL車のスイッチの場合

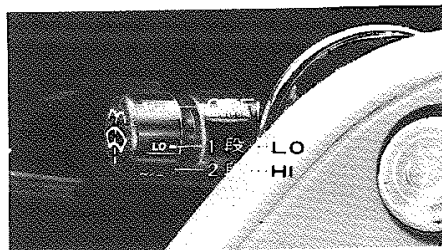


2段引き出し式は同じですが、スイッチをまわすことにより、メーター・パイロット・ランプの明るさを調節することができます。

左にまわすと明るくなり、右にまわすにしたがって暗くなります。

右にいっぱいまわすと、メーター・パイロット・ランプは消えます。

■ ワイパー・アンド・ウォッシャー・スイッチ



エンジン・スイッチがONのときに作動します。

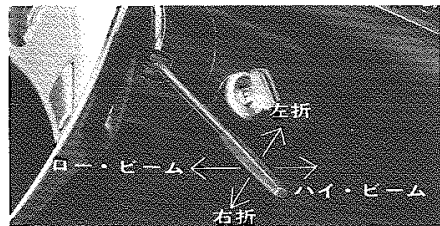
ワイパー速度は、前側に1段まわすと低速、2段まわすと高速に変わる2段式です。

ウインドウ・ウォッシャーはワイパーと連動式になっています。スイッチを押すと、ウォッシャー液が噴射され、同時にワイパーが数回作動し止まります。

＜注意＞

ガラスに泥水・埃がついているとき、ワイパーを、また、ウォッシャー液が空のときウォッシャーを作動させないでください。

■ ターン・シグナル・スイッチ



エンジン・スイッチがONのとき作動します。

スイッチ・レバーを上<左折>、または下<右折>の位置にすると、ターン・シグナル・ランプが点滅します。

このとき、計器盤のターン・シグナル・インジケーター・ランプ<緑色>も同時に点滅します

ハンドルをもとにもどすと、レバーは自動的にもどります。

＜注意＞

Y字路など、ハンドルの操作の少ないときはレバーが自動的にもどらないときがありますが、このようなとき手でもどしてください。

ディマー・スイッチ……

ヘッドランプが点灯しているときに作用します。

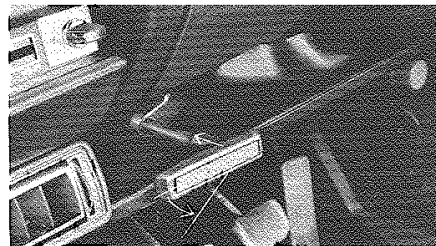
レバーを前側に押すと4灯<ハイ・ビーム>点灯します。手前に引くと2灯<ロー・ビーム>点灯します。

ハイ・ビームが点灯しているときは、コンビネーション・メーター内のハイ・ビーム・インジケーターランプ(青色)がつかまます。

ヘッド・ランプ・ホーン

レバーをロー・ビームの位置から手前に引くと、ライト・コントロール・スイッチに関係なくヘッド・ランプのハイ・ビームが点灯しますが、手を離すと自動的にレバーがもどり消えます。

■ パーキング・レバー



ブレーキ・ペダルを踏み、パーキング・レバーをいっぱい引くと、後2輪にブレーキが作用します。

もどすときは、レバーを左にまわし、そのまま、レバーをおしこみますと、ブレーキがはずれます。

エンジン・スイッチがONのとき、このレバーを引きますと、コンビネーション・メーター内のパーキング・ブレーキ・インジケーター・ランプ(赤色)が点灯します。

＜注意＞

坂路に駐車するときには、パーキング・ブレーキを使用し、さらにシフト・レバーをローまたはリバースに入れ、さらに

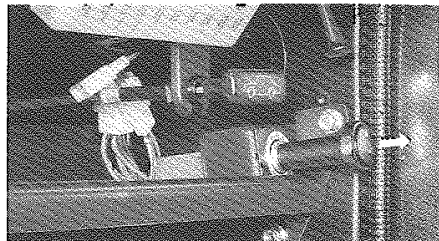
輪止めをしてください。

BRAKEランプが消えるのを確認してからスタートしてください。

■ハザード・ウォーニング

シグナル・スイッチ

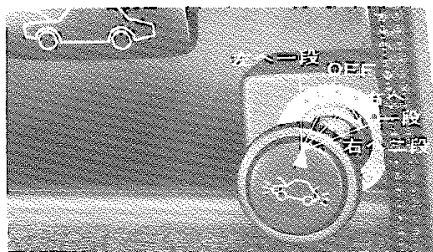
(非常点滅表示灯スイッチ)



スイッチを引き出しますと、ターン・シグナル・ランプが前後左右とも全数点滅し、お車が緊急駐車中であることを知らせます。このとき、コンビネーション・メーター内のターン・シグナル・インジケーター・ランプ（緑色）左右とも同時に点滅します。

お車が故障などで、緊急路上駐車しているときは、他車の追突防止のため必ずご使用ください。

■パーキング・ランプ・スイッチ



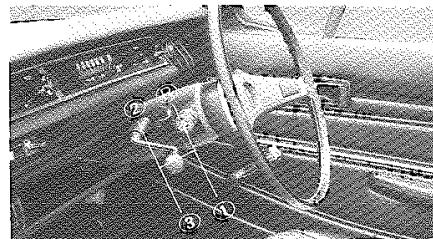
左へ一段……………左側前後のパーキング・ランプが点灯

右へ一段……………右側前後のパーキング・ランプが点灯

右へ二段……………前後左右のパーキング・ランプが同時に点灯

■コントロール・レバー

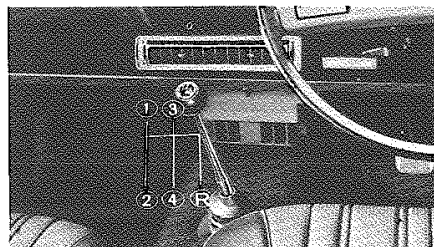
3段トランスミッション車



オール・シンクロメッシュの前進3段と後退1段です。

シフト・パターンは写真のとおりです。

4段トランスミッション車



オール・シンクロメッシュの前進4段と後退1段です。

シフト・パターンはノブの図のとおりです。

エンジン・スイッチがONのとき、リバースにシフトすると、バック・アップ・ランプが付きまます。

<注意>

リバースへは車が完全に停止してからシフトしてください。